



今回の「スマイル通信」は、ゆり支援学校の院内学級についてお伝えします。

1 本校の院内学級について

平成8年4月に由利組合総合病院内に開設された学級です。入院している小・中学生を対象に、本校の教員が指導にあたります。病院にある教室（4階：学習室：通称スマイル教室）での指導が基本ですが、病状に応じて病室のベッドサイドでの指導も行っています。秋田県教育委員会とゆり支援学校が、由利組合総合病院と連携しながら運営しています。



由利組合総合病院

2 どんな学習をするのか

基本的には午後の時間帯を使って児童生徒の状況に応じながら、小・中学校の教育課程に沿った学習指導を行います。内容や進度については本人、保護者、在籍校と連絡を取り合いながら進めていきます。

さらに、病気や入院等による不安に対して少しでもストレスを軽減するよう支援をします。また、退院後の学校生活で感じるかもしれない心配や不安に対しても、支援を通して軽減に努めます。

※学習活動の例

時間	活動内容	学習内容
13:20	病棟連絡 児童生徒迎え	
13:25	始まりの会	健康観察 今日の予定
13:30～ 14:10	学習①	小・中学校に 準ずる教科指導
14:20～ 15:00	学習②	※自立活動
	病棟連絡	体調等の報告 今後の予定



※自立活動とは

入院中、または退院後の不安や心配ごとなどに対応できるように教師と一緒に取り組む学習活動のことです。児童生徒の興味関心事などを取り入れ、コミュニケーションを大事にしながら行います。

3 今年度の取組

目 標

病院内における通級指導を実現できるよう環境を整える

*週1回、院内学級（由利組合総合病院内）に出向

- ・いつでも利用できるように職員が定期的に病院に出向き、教室の環境整備を行い、受入れ態勢を整えています。

*理解推進のためのパンフレット作成・ホームページ掲載

- ・このホームページにも載せましたパンフレットを作成し、病院内（小児科病棟）にも掲示、配付しています。また、掲示板に季節に合わせた装飾をしています。
- ・院内学級について広く知ってもらうために、「スマイル通信」を作成し、ホームページにも掲載しています。



◎慢性疾患等の児童生徒が利用することの多い院内学級ですが、今年度はけがで入院・手術した小学校6年生の児童に通級指導を行いました。

6月14、21、24、28、30日の5日間、4階にある院内学級（スマイル教室）で行いました。

学習内容としては主に原籍校（児童が在籍している小学校）から出されている課題を中心に、分からない箇所を確認しながら進めていきました。

算数・・・「**分数×分数**」「**分数÷分数**」「**文字と式**」のプリント学習

国語・・・「**やまなし**」より、漢字演習、文章問題

社会・・・「**武士の世の中へ**」プリント学習

理科・・・「**ものの燃え方**」「**からだのつくりとはたらき**」プリント学習

5日間という短い期間でしたが、教科の学習はもちろん、アイロンビーズで制作活動をしたり、趣味や興味のあることを話題にしながら自立活動の学習も行いました。

入院生活や手術における不安や心配事が少しでも和らいでくれればと願いながら支援を行いました。



「**分数の割り算は・・・**」
「**へえ～逆数にするのか・・・**」



～国語の漢字練習～
とめ、はねに気を付けて丁寧書きます。



退院記念にアイロンビーズでマトリョーシカを作成。配色を考えながら丁寧に作りました。